

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1271400333		
法人名	有限会社ウイズケア		
事業所名	グループホームあすなる		
所在地	千葉県香取市玉造483-2		
自己評価作成日	平成27年8月6日	評価結果市町村受理日	平成27年10月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都世田谷区弦巻5-1-33-602		
訪問調査日	平成27年9月16日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出は祭り見物や花見のほかにも、文化会館や公民館での催し物見学にも出掛けている。</li> <li>・年に2回、あすなる祭りやクリスマス会を、地域の方々も招待して行なっている。</li> </ul>
---

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然環境(田園等)に恵まれた木造平屋建てのホームです。建物内全体が明るく、清潔で、リビング兼食堂は家庭的雰囲気に包まれ、利用者が職員と一緒に毎日各種体操(ラジオ・嚙下・リズム)や理念の唱和をしています。庭の家庭菜園から収穫した野菜が時々食膳に上がり、利用者を喜ばせています。</li> <li>2. 健康面では、かかりつけ医の毎月受診、歯科医は適時、忙しい家族に代わり職員が殆ど付き添っており、看護師(非常勤)が週1回健康チェックし、利用者は毎日体操・散歩、2日毎入浴等しています。</li> <li>3. サービス面では、利用者に応じたきめ細かいサービス(2名の週3回作業所通いや本人の意向に沿った通所支援)を行っており、家族アンケートで大好評を得ています。実際各種改善例(介護度、オムツ、表情等)があり、家族から感謝されています。</li> </ol>
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	昼食前と夕食前に、入居者とスタッフで唱和し、毎日再認している	法人理念「共に生きる」と運営理念6か条を掲げ、職員は、毎日のサービスで既に実践しています。グループホームの主旨の地域密着性も織込み、適正と思われます。特に職員のみならず利用者も毎日理念と一緒に唱和している事は、他に例がない様に思われます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の草刈り等に、積極的に参加している。又近くのグループホームや保育所に入居者と共に、紙芝居の出前に行っている	町内会に加入し、各種行事(総会、廃品回収、交通安全指導、草刈り等)に積極的に参加しています。あすなる祭ではボランティアと一緒にフラダンスを踊ったり、利用者が寸劇を演じる等、楽しんでます。又高校のボランティア部員2名を毎週受け入れています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小見川看護学校の実習生を受け入れ、認知症ケアを伝えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出てきた意見をスタッフに伝え、サービス向上に活かしている	年6回、地域包括支援センター職員、市担当、町内会代表、民生委員、社協地区委員、利用者、家族、職員で開催しています。議題は、活動報告、利用者報告、介護保険改定、あすなる祭り見学などで、活発に意見交換し、サービス向上に活かしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加してもらい、報告をし、意見を頂いている	必要な都度市担当に報告し、相談しています。又運営推進会議には、必ず出席依頼し、意見を聴くようにしています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフが順番に外部研修に参加し、学んできたことを、社内研修にて発表している	身体拘束廃止の方針を持ち、職員は年間社内研修計画の中で、身体拘束について学ぶ様になっています。日中玄関の施錠はせず、職員がドアに取り付けたチャイムの音に注意し、利用者対応しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフが順番に外部研修に参加し、学んできたことを、社内研修にて発表している。虐待と思われるような事はおきていない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフが順番に外部研修に参加し、学んできたことを、社内研修にて発表し、再確認を行なっている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に行なっている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や、ケアプラン作成の際にお聞きし、運営に反映させている	職員は、利用者からはサービス提供時に、家族からは訪問時や運営推進会議時、ケアプラン作成時、家族会(あすなる祭り=年1回)等で意見を聞き、運営に反映する様にしています。家族アンケートでも「要望に合わせ、柔軟に対応してくれる」と大好評です。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや、毎日の朝・夕の申し送りその他にて意見を聞き、運営に反映している	管理者、施設長は、就業時や月1回の職員会議時、ミーティング時に職員から意見を聞き、運営に反映するように努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	のぞみ国際社労士事務所と相談しながら、十分に行なっている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	学んでほしい事を、スタッフ個々にその都度伝えている。又、外部研修・社内研修の機会を確保しトレーニングを行なっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県立病院や、地域密着サービス連絡会の研修に参加し、スタッフに積極的に交流するよう勧めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に出来るだけ施設を見学して頂くようにお勧めし、十分な説明を行い、その上で不安や要望をお聞きしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	自宅等を訪問して面会し、入居前に出来るだけ施設を見学して頂くようにお勧めし、十分な説明を行い、その上で不安や要望をお聞きしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在、他のサービス利用の必要性はないが、必要としている支援をその都度行なっている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に外出し楽しんでいる。又、普段の会話で悩みをお聞きしたり、逆に相談にのって頂いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、入居者のご様子をお手紙で伝え、報告、相談を行なっている。又、面会時、相談し、助言を頂いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	兄弟の家に送っていったり、病院や美容室等、なじみのところにお連れしている。	家族はもちろん、一緒に孫やひ孫が来ることもあり、利用者の楽しみとなっています。入居前に近所だった友人や元会社の同僚が来訪し歓談しています。また昔馴染みだった幼稚園に職員と一緒にいき、紙芝居をして幼児から喜ばれている利用者もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士が関わりを持ちやすいように、情報を伝える(共通の話題作り)。又、洗濯たたみを入居者に集まってもらい、やっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談があればお聞きし支援するよう努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフとも相談し、本人が思っているだろう意向をケアプランに反映している	帰宅願望の強い利用者には、正月とお盆に家族が迎えに来て外泊し、利用者の思いに応じています。困難な場合でも、声かけをして表情やうなづきから意向の把握に努めています。夜勤帯は職員一人になるので、言いにくい事を利用者が話す場合もあり、その際職員は傾聴を心がけています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、これまでのケアマネージャー、病院担当者に聞き、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人やスタッフからこまめに様子を聞き、日々の申し送り時や月1回のミーティングで把握するよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族と話しあって、意見や要望を聞き、スタッフの話し合いに反映し、介護計画を作成している	介護計画は計画作成者が中心になり、本人や家族の要望を尊重し、職員の意見を反映し作成しています。モニタリングを毎月に行い、支援に活かしています。体調変化時等には、随時の見直しも行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記録し申し送りにて情報を共有。確認の為、管理者が連絡ノートに記入しスタッフに徹底させる。又、ケアマネージャーがモニタリングし、ケアプランに反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望の家で作業訓練を行なって頂いている。又、ニーズに応じて、その都度対応している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	希望の家で作業訓練を行なって頂いている。又、フレンドシップのクリスマス会等に参加して頂いている。地域で行なわれている行事などを把握し希望する方をお連れしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	十分に行なっている	かかりつけ医にそれぞれ外来で受診しています。家族が付き添えない場合は、職員が付き添っています。歯科は必要があれば、虫歯の治療、義歯の調整、口腔ケアを行っています。また皮膚科、外科、精神科等には個別に外来で対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内の看護師に相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、介護サマリーを提出し、入院当初は週1～2回位で訪問している。又、県立病院の研修に出来るだけ参加している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	先日、急激に体力低下した入居者のご家族と終末期のあり方について主治医も含め、十分に話し合いを行なった。今後は入所時に、本人、家族と話し合いを行い文書にするようにした	入居時に本人や家族の希望があれば「医療連携体制、看取りに関する指針」の同意書を交わしています。毎月のミーティング時に、「看取りの勉強会」を実施し、職員の周知徹底を図っています。かかりつけ医・管理者・家族（意向を予め聞いておく事を含め）の話し合いの中で、家族の要望により、急変時に病院に搬送したり、ホームで看取る等、色々あります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行っていない。今後は定期的に訓練を行なっていく		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月1回、避難訓練を行なっている。又、災害時の対応マニュアルを作成しており、すぐに確認できるようにしてある	消防署立会い訓練年1回と毎月自主避難訓練を実施しています。スプリンクラー・消火器・緊急装置等が設置され、緊急時対応表・連絡先も掲示されています。備蓄も3日分準備されています。	最近の各種災害発生を考え、関係者と災害対策を話し合う事と年1回災害訓練の実施が期待されます。又避難弱者を抱えている事や地域から頼りにされる可能性がある事と考え、備蓄(数量・内容)の見直しが望まれます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	十分に行なっている	これから何をするか「入浴や移動等」の声かけをしてから、利用者のペースに合わせて対応しています。トイレ誘導時には、他の利用者に気づかれないように声かけし、羞恥心に配慮しています。職員の接遇・マナーが周知徹底されているホームです。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるように、「お願いできますか?」や「どういたしますか?」と、お聞きするようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活でその方のペースを知り、大切にしながら支援をしている。また、したい事を伺うようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容室の希望があったら、すぐに対応している。また、洋服はアドバイスをして、選んで頂いている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	何が食べたいのかお聞きし、献立を決めている。又、曜日ごとに入居者の調理担当を決め、一緒に行なっている	盛り付けや配下膳など出来ることを、無理強いはされませんが行っています。外食はほぼ月1回は出かけ、ファミリーレストランで自分の好みの定食などを選ぶのが楽しみとなっています。必要に応じて刻み、ミキサー食、トロミをつけ誤嚥防止に努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な入居者には水分チェック表を使用し、必要な水分量を確保出来るようにしている。又、入居者ごとに食種や調理法を変え、提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方の状態に合わせて、声掛け・見守り・介助を行なっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンをよく観察し、その方に合わせたトイレ誘導を行なっている	言葉が出ないため尿意を告げられなかった利用者で、排泄パターンの把握からトイレ誘導し、失禁が減り表情が明るくなった例があります。又要介護5の人で日中はトイレまで徒歩で行く様にするなど、自立を支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維(しらたきやきのご類等)の多い食事の提供に努めている。又、散歩や室内での運動をスタッフと共に行なって頂いている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴剤を選んで頂いたり、リラックス出来るような会話をするよう、努めている	一日おきの入浴支援を、原則午後に行っています。体調に問題がある場合は、翌日に延ばすか清拭に切り替えています。ゆず湯、しょうぶ湯で季節感を出したり、庭に咲いたバラを使ってバラ湯にして色と香りを楽しむ支援もしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れないときは、話を聞いたり、ホットミルクを提供し眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者が周知し、変更や追加等があった時は連絡ノート等を使用しスタッフに徹底している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・箱折り・裁縫、寮長としての声掛け等、入居者それぞれの好きなことを見つけ、行なって頂いている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その方の希望にそって、出来るだけ出掛けられるように支援している	利用者は、ほぼ毎日約20分、安全対策上黄緑色の上着を着て、散歩に出かけています。又雑貨やおやつ、日用品等の買い物に職員と出かけています。花見は香取神社へ、藤棚のある水生植物園や紫陽花は多古の日本寺、ブドウ狩りは香取市内のいもっこファミリー等に遠出しており、リビングに利用者の外出先での笑顔の写真が掲げられています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの力や希望に応じて支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人から訴えがあった時はすぐに対応している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾っており、喜んで頂けている。又、照明や温度、湿度をこまめに調整している	リビング兼食堂は、明るく、清潔で、家庭的な雰囲気にも包まれています。季節の花が活けられ、利用者の習字の力作、貼り絵、行事写真、カレンダー、置物等生活感・季節感を感じます。庭に家庭菜園があり、季節毎の収穫が利用者を喜ばせています。食堂等の席の位置は相性を配慮し決めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで居心地よく過ごせるよう、食席を十分に検討し、現在落ちついている。サンルームも居心地がよいようにソファを設置してある		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の好みをお聞きしながら、居心地よい居室を作るよう、努めている。又、小型の家具など、使い慣れたものを持ち込んで頂いている	エアコン、クローゼットが備え付けで、ベッドはレンタルを利用しています。利用者・家族の好みを聞き各出入り口にセンスの良い暖簾をして、ドアを開放してもプライバシーが比較的守られる様に配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや、センサーを設置し、安全で自立した生活が送れるよう努めている		